

急傾斜地崩壊対策施設が効果を発揮した事例 (福井県 あわら市 吉崎)

平成18年7月豪雨の影響により、19日午前9時までに総雨量419mm、最大時間雨量27mmに達し、あわら市吉崎でがけ崩れが発生しました。待受け擁壁が崩壊土砂を捕捉し、一部土砂が住宅へ流出したものの人家被害は回避されました。

被災全景写真



待受け擁壁

土砂捕捉状況



崩壊土砂の捕捉により、人家被害を回避